

1. 本授業科目の基本情報

科目名（コード）	Grammar I		（ NCR12S ）
講義名（コード）	Grammar I		（ NCR12SX ）
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年	1学年
対象コース	英語キャリアコース	単位数	2
授業担当者	高野 恵	時間数	30
成績評価教員	高野 恵	講義期間	春学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	文法を理解することにより読解や会話での表現の幅を広げる。
全体の内容と概要	文章の構成、品詞の役割を学び、練習問題や会話練習を通して使える文法を身につける。
授業時間外の学修	復習として練習問題を解く。また、音読練習をしてスムーズに口からできるようにする。
履修上の注意事項等	なし

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理能力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	5文型を理解できるようになる	同じ動詞 (get) でも文型によって意味が変わってしまうことを学ぶ。文型の特徴を知り、見分けられるようにする。
2	現在形・現在進行形を理解できるようになる	現在形と現在進行形の違いについて学び、現在形と進行形を使い分けてみる。
3	過去形と過去進行形を理解できるようになる	不規則動詞・規則動詞の確認をする。過去形と進行形の違いを理解し、接続詞を使って表現してみる。
4	現在完了形を理解できるようになる	現在完了形を使う様々な場面を理解する。
5	現在完了形を理解できるようになる	現在完了形と現在進行形を比べてみる。
6	How long + 現在完了の質問・返答ができるようになる	How long の質問を作り、それに対する応答ができる。
7	現在完了と過去形の違いを理解できるようになる	様々な場面を想定して適する時制を使えるようにする。
8	受動態を理解できるようになる	単純現在・過去形の受動態、現在完了、現在進行形の受動態の作り方を理解し文章を作る。
9	have/have got/ used toを理解できるようになる	have/have got/ used toの使い方を理解し、実際に使って自分のことを話してみる。
10	未来形を理解できるようになる	現在進行形や現在形を未来形として使ってみる。be going to / will/shall の違いを理解し表現してみる。
11	さまざまな助動詞を理解し、使いこなせるようになる1	それぞれの助動詞の意味を理解し、会話で使えるように練習する。
12	さまざまな助動詞を理解し、使いこなせるようになる2	それぞれの助動詞の意味を理解し、会話で使えるように練習する。
13	総復習	間違えやすい項目、定着していない項目を中心に復習する。
14	期末テスト	期末テスト
15	まとめと解説	テスト F B

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	マーフィーのケンブリッジ英文法 (初級編)
参考文献・資料等	Evergreen
備考	なし

1. 本授業科目の基本情報

科目名（コード）	Listening Drill I		（ NCR13E ）
講義名（コード）	Listening Drill I		（ NCR13EX ）
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年	1学年
対象コース	英語キャリアコース	単位数	2
授業担当者	DavidA. Robbins	時間数	30
成績評価教員	DavidA. Robbins	講義期間	春学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	The goal of the class is to have a clear and easy understanding of basic English conversation.
全体の内容と概要	We will be using a textbook, audio-book and multimedia to expose the student to a variety of English topics, levels and accents
授業時間外の学修	I don't expect them to do homework but they will have the option of doing research out of class in improve their knowledge. I will provide them time in class to research when needed.
履修上の注意事項等	During lecture and discussion times, they will be expected to leave their phones on top of their desks. During research and study times, they will be allowed to use their smartphones as study tools.

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	Learn a self introduction and how to ask questions for understanding	Introductions, Orientation & B.P.U.s
2	Can comprehend a conversation and pick out specialized vocabulary	Frog and Toad are Friends' Part #1 Comprehension, Vocabulary & Word Usage
3	Can recognize and use verbal contractions	Understanding and Using Contractions, Unit 1 pp.6-9
4	Can comprehend a conversation and pick out specialized vocabulary	Frog and Toad are Friends' Part #2 Comprehension, Vocabulary & Word Usage
5	Learning the proper usage of prepositions	Prepositional usage and phrases, Unit 2 pp.10-13
6	Can comprehend a conversation and pick out specialized vocabulary	Frog and Toad are Friends' Part #3 Comprehension, Vocabulary & Word Usage
7	Able to use the verb 'Do' correctly in its tense form	Using What, How and Why Questions and Answering Them, Unit 3 pp.14-17
8	Can comprehend a conversation and pick out specialized vocabulary	Frog and Toad are Friends' Part #4 Comprehension, Vocabulary & Word Usage
9	Able to use the verb 'Have' correctly in its tense form	Phrases Using Possession and Verb Phrases, Unit 4 pp.18-21
10	Can comprehend a conversation and pick out specialized vocabulary	Frog and Toad are Friends' Part #5 Comprehension, Vocabulary & Word Usage
11	Able to use the verb 'Get' correctly in its tense form	Sentences Using the Verb 'Get', Unit 5 pp.22-25
12	Can comprehend a conversation and pick out specialized vocabulary	Frog and Toad are Friends' Part #6 Comprehension, Vocabulary & Word Usage
13	Able to use the verb 'Give' correctly in its tense form	Breakdown of Uses for the Verb Phrases of 'Give', Unit 6 pp.26-29 & Test Review
14		Test
15		Feedback

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	'Practical Listening Skill for English Communication' by Kaibunsha Publications & 'Frog & Toad Collection' audiobook by Arnold Lobel
参考文献・資料等	N/A
備考	N/A

1. 本授業科目の基本情報

科目名（コード）	Pronunciation Speaking I		（ NCR12U ）
講義名（コード）	Pronunciation Speaking I		（ NCR12UX ）
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年	1学年
対象コース	英語キャリアコース	単位数	2
授業担当者	PIERCE WILLIAM TROY	時間数	30
成績評価教員	PIERCE WILLIAM TROY	講義期間	春学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	To become comfortable speaking English in social and professional settings.
全体の内容と概要	Textbook work, group discussion activities, one on one conversation activities.
授業時間外の学修	Discussion preparation and research.
履修上の注意事項等	

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理能力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	Introduction.	Introduction of class, textbook, teacher, and class expectations.
2	Can express critical ideas.	Textbook Chapter 1. Study the language used to express ideas and importance.
3	Can explain skills and talents.	Textbook Chapter 1. Practice describing personal skills and talents.
4	Can ask for repetition and explanation.	Textbook Chapter 1. Listening activities and group work to practice asking for clarification and repetition.
5	Can understand and communicate main ideas.	Textbook Chapter 2. Listening activities and group work to practice communicating main ideas and themes.
6	Can express support for a suggestion or opinion.	Textbook Chapter 2. Conversation work with a focus on expressing opinion and explaining personal views.
7	Can relay information from notes.	Textbook Chapter 2. Activities focused on note taking and communicating notes clearly.
8	Can understand and express ideas of priority.	Textbook Chapter 3. Study language surrounding the expression of priority and importance.
9	Can express support for a suggestion or opinion.	Textbook Chapter 3. Further work expression reasons for personal opinion and suggestion.
10	Can express plans and future events.	Textbook Chapter 3. Students will create conversations around the topic of future plans and events.
11	Can listen for specific information and repeat.	Textbook Chapter 4. Listening activities focused on hearing and understanding specific information and repeating it back.
12	Can use and understand synonyms.	Textbook Chapter 4. Vocabulary work focused on the understanding and use of synonyms.
13	Exam Prep.	Final exam preparation and review.
14	Exam.	Final Exam.
15	Feedback.	Final exam feedback and Q&A.

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	Q Skills: Listening and Speaking 1
参考文献・資料等	Worksheets, group activity sheets, and misc. references.
備考	

1. 本授業科目の基本情報

科目名（コード）	Reading & Vocabulary I		（ NCR12Q ）
講義名（コード）	Reading & Vocabulary I		（ NCR12QX ）
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年	1学年
対象コース	英語キャリアコース	単位数	2
授業担当者	高野 恵	時間数	30
成績評価教員	高野 恵	講義期間	春学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	リーディングに必要な文法や構文、スキルを身につけながら読解力を上げる。
全体の内容と概要	毎回違う記事を読みながら単元ごとに必要な文法やスキルを学び、複雑な文章であっても正しく読めるようにする。
授業時間外の学修	新しい単語・フレーズを復習し音読練習をする。
履修上の注意事項等	なし

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理能力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	記事から「品詞」を見分けることができるようになる	Stuffed Toys を読み「品詞」の役割を学ぶ。
2	記事から「文の要素」を抜き出すことができるようになる	Zipf's Lawを読み「文の要素」の抜き出し方を学ぶ。
3	記事から「文型」を学び正しく読めるようになる	What a Team の文章から「文型」を学び正しく読めるようにする。
4	記事から「句」の用法を理解できるようになる	Micky Saves Walt を読み「句」の用法を学ぶ。
5	記事から「節」の用法を理解できるようになる	Superstar Vet を「節」の用法を理解しながら読む。
6	記事から「文の種類」を見分けることができるようになる	Smash Hitの文章から「文の種類」を見極めながら読む。
7	記事から「接続詞」の用法を理解できるようになる	I've Never Done That を「接続詞」の用法を理解しながら読む。
8	記事から「不定詞・動名詞」の用法を理解できるようになる	Smells and Treats を「不定詞と動名詞」の用法を理解しながら読む。
9	記事から「形式主語・形式目的語」を理解できるようになる	Stress Buster の中から「形式主語・形式目的語」を見つけ正しく読めるようにする。
10	記事から「分詞」の用法を理解できるようになる	It's a Tough Business を「分詞」を理解しながら読む。
11	記事から「分詞構文」の用法を理解できるようになる	Uninhabited Islandの中から「分詞構文」を見つけ正しく読めるようにする。
12	記事から「関係代名詞」の用法を理解できるようになる	Mealtime Inspiration から「関係代名詞」が使われている文を見つけ、正確に読む練習をする。
13	総復習	間違えやすい項目、定着していない項目を中心に復習をする。
14	期末テスト	期末テスト
15	まとめと解説	テスト F B

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	Reading Palette Red
参考文献・資料等	The Rules英語長文問題集1
備考	なし

1. 本授業科目の基本情報

科目名（コード）	Reading & VocabularyⅢ		（ NCR22K ）
講義名（コード）	Reading & VocabularyⅢ		（ NCR22KX ）
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年	2学年
対象コース	英語キャリアコース	単位数	2
授業担当者	高野 恵	時間数	30
成績評価教員	高野 恵	講義期間	春学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	リーディングに必要な文法や構文、スキルを身につけながら、読解力を上げる。
全体の内容と概要	毎回違う記事を読みながら、單元ごとに必要な文法やスキルを学び、複雑な文章であっても正しく読めるようにする。
授業時間外の学修	新しい単語・フレーズを復習し、音読練習をする。
履修上の注意事項等	なし

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理能力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	記事から「品詞」を見分けることができるようになる	Stuffed Toys を読み「品詞」の役割を学ぶ。
2	記事から「文の要素」を抜き出すことができるようになる	Zipf's Lawを読み「文の要素」の抜き出し方を学ぶ。
3	記事から「文型」を学び正しく読めるようになる	What a Team の文章からそれぞれの「文型」を学び正しく読めるようにする。
4	記事から「句」の用法を理解できるようになる	Micky Save Walt を読み「句」の用法を学ぶ。
5	記事から「節」の用法を理解できるようになる	Superstar Vet を「節」の用法を理解しながら読む。
6	記事から「文の種類」を見分けることができるようになる	Smash Hitの文章から「文の種類」を見極めながら読む。
7	記事から「接続詞」の用法を理解できるようになる	I've Never Done That を「接続詞」の用法を理解しながら読む。
8	記事から「不定詞・動名詞」の用法を理解できるようになる	Smells and Treats を「不定詞と動名詞」を理解しながら読む。
9	記事から「形式主語・形式目的語」を理解できるようになる	Stress Buster の中から「形式主語・形式目的語」を見つけ正しく読めるようにする。
10	記事から「分詞」の用法を理解できるようになる	It's a Tough Business を「分詞」を理解しながら読む。
11	記事から「分詞構文」の用法を理解できるようになる	Uninhabited Islandの中から「分詞構文」を見つけ正しく読めるようにする。
12	記事から「関係代名詞」の用法を理解できるようになる	Mealtime Inspiration から「関係代名詞」が使われている文を見つけ、正確に読む練習をする。
13	総復習	間違えやすい項目、定着していない項目を中心に復習をする。
14	期末テスト	期末テスト
15	まとめと解説	テスト F B

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	Reading Palette Red
参考文献・資料等	The Rules英語長文問題集1
備考	なし

1. 本授業科目の基本情報

科目名（コード）	TOEIC対策 I		（ NKT13H ）
講義名（コード）	TOEIC対策 I A		（ NKT13HA ）
対象学科	国際コミュニケーション学科 / グローバルビジネス学科	配当学年	1学年
対象コース	観光ホスピタリティコース / 英語キャリアコース / グローバルビジネスコース	単位数	2
授業担当者	PIERCE WILLIAM TROY	時間数	30
成績評価教員	PIERCE WILLIAM TROY	講義期間	春学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	To give students the knowledge, skills, and techniques necessary to succeed on the TOEIC exam.
全体の内容と概要	Textbook work, grammar and vocabulary exercises, and TOEIC practice exams.
授業時間外の学修	Vocabulary and grammar review.
履修上の注意事項等	

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理能力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	Introduction to TOEIC.	Introduce students to teacher, textbook, and class expectations. Discuss the sections of the TOEIC and prepare for an assessment.
2	Do a TOEIC Listening Assessment Test.	Students will take a TOEIC Listening practice test in order to gauge their current abilities.
3	Do a TOEIC Reading Assessment Test.	Students will take a TOEIC Reading practice test in order to gauge their current abilities.
4	Understand advertising vocabulary and superlatives.	Textbook Unit One. Study advertising vocabulary and the use of superlatives.
5	Understand facts and identify useless information.	Textbook Unit One. Learn to identify facts, assumptions, and extra information. Mini-Test 1.
6	Understanding service vocabulary and voice.	Textbook Unit Two. Study customer service vocabulary and the use of voice in writing.
7	Understand traps in picture descriptions.	Textbook Unit Two. Learning to avoid traps in picture descriptions. Mini-Test 2.
8	Understand shipping vocabulary and conditionals.	Textbook Unit Three. Study shipping vocabulary and the use of third conditionals.
9	Understand expressions of location and formal verbs.	Textbook Unit Three. Learn to follow expressions of location and identify formal and informal verbs. Mini-Test 3.
10	Understand finance vocabulary and suffixes.	Textbook Unit Four. Study finance vocabulary and the use of suffixes.
11	Understand types of talks and spoken tone.	Textbook Unit Four. Learn to identify different types of talks and understand spoken tone. Mini-Test 4
12	Exam prep.	Exam preparation and review.
13	Exam Part One	TOEIC Listening Exam
14	Exam Part Two	TOEIC Reading Exam
15	Exam Feedback	Final exam feedback and Q&A.

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	Barrons TOEIC
参考文献・資料等	Listening audio, practice tests, and reference pages.
備考	

1. 本授業科目の基本情報

科目名（コード）	TOEIC対策 I		（ NKT13H ）
講義名（コード）	TOEIC対策 I B		（ NKT13HB ）
対象学科	国際コミュニケーション学科 / グローバルビジネス学科	配当学年	1学年
対象コース	観光ホスピタリティコース / 英語キャリアコース / グローバルビジネスコース	単位数	2
授業担当者	DavidA. Robbins	時間数	30
成績評価教員	DavidA. Robbins	講義期間	春学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	To prepare students to take the official TOEIC test.
全体の内容と概要	Using the textbook to cover all the main areas covered in TOEIC testing for both comprehension and reading. Also, discussion on TOEIC testing techniques.
授業時間外の学修	I don't expect them to do homework, but they will have the option of doing research out of class to improve their knowledge. I will provide them time in class to research when needed.
履修上の注意事項等	During lecture and discussion times, they will be expected to leave their phones on top of their desks. During research and study times they will be allowed to use their smart phones as study tools.

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 （小数点以下切り上げ）	授業中の活動評価点 （5点を基準に加点・減点）
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	Knowing office vocabulary, grammar and pronunciation.	At the Office, Unit 1 Covering Vocabulary, Grammar and Listening Strategy
2	Recognizing the main idea in passages.	At the Office, Unit 1 Covering Reading and Mini-Test
3	Knowing travel vocabulary, grammar and pronunciation.	Travel, Unit 2 Covering Vocabulary, Grammar and Listening Strategy
4	Recognizing the main idea in passages.	Travel, Unit 2 Covering Reading and Mini-Test
5	Knowing shopping vocabulary, grammar and pronunciation.	Shopping, Unit 3, Covering Vocabulary, Grammar and Listening Strategy
6	Learning to skim and scan in reading	Shopping, Unit 3, Covering Reading and Mini-Test
7	Knowing banking vocabulary, grammar and pronunciation.	Banking, Unit 4 Covering Vocabulary, Grammar and Listening Strategy
8	How to make and inference when reading	Banking, Unit 4 Covering Reading and Mini-Test
9	Knowing school vocabulary, grammar and pronunciation.	College Life, Unit 5 Covering Vocabulary, Grammar and Listening Strategy
10	Learning the differences in transition words.	College Life, Unit 5 Covering Reading and Mini-Test
11	Knowing home vocabulary, grammar and pronunciation.	Around the House, Unit 6 Covering Vocabulary, Grammar and Listening Strategy
12	Recognizing misused words in reading.	Around the House, Unit 6 Covering Reading and Mini-Test
13		Test Review
14		Test
15		Feedback

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	Building TOEIC Skills by Andrea Janzen, Seed Learning Inc.
参考文献・資料等	N/A
備考	N/A

1. 本授業科目の基本情報

科目名（コード）	TOEIC対策 I		（ NKT13H ）
講義名（コード）	TOEIC対策 I C		（ NKT13HC ）
対象学科	国際コミュニケーション学科 / グローバルビジネス学科	配当学年	1/2学年
対象コース	観光ホスピタリティコース / 英語キャリアコース / グローバルビジネスコース	単位数	2
授業担当者	木村 みゆき	時間数	30
成績評価教員	木村 みゆき	講義期間	春学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	TOEIC の形式を学び、実際のテストに備える
全体の内容と概要	練習問題を通じて TOEICの傾向と対策を学ぶ
授業時間外の学修	TOEIC のに必要な語彙を増やす
履修上の注意事項等	

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理能力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	時制を理解し使い分けができる	現在・現在完了・進行形の説明後unit1:part5の練習問題をする
2	TOEICのunit1 readingの解き方を理解できる	文法の復習後unit1:part6 reading 何に注目して読むべきかを学ぶ
3	簡単な場面を英語で説明できる	写真を見て状況を英語で説明してみる：unit1:listeningに挑戦
4	受動態を理解できる	受動態に関する問題を解いた後unit2:part5 の練習問題
5	unit 2 readingの解き方を理解できる	文法の復習後、unit2:part6 reading の練習問題を解く
6	簡単な文章の聴解ができる	簡単な英文を聞き、書きとってみる。会話を聞いて内容を理解する練習
7	主語・動詞の関係を理解できる	each /either/neither…と動詞の関係を学習後unit3:part5の練習問題
8	unit 3 readingの解き方を理解できる	文法の復習とunit3:part6の練習問題
9	簡単な場面を英語で説明できる	写真を見て状況を英語で説明してみる：会話を聞いて内容を理解する
10	phrasal verbsの使い方を理解できる	phrasal verbs を覚える。Unit4: part5穴埋め問題をする
11	unit4 reading の解き方が理解できる	文法の復習とunit4:part6 reading 練習問題
12	簡単な文章が書き取れる	簡単な英文を聞き、書きとってみる。会話を聞いて内容を理解する練習
13	テスト対策	前期で学んだことを復習しテストに備える
14	テスト	
15	テストFB	テストの解説とまとめ

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	Very Easy TOEIC 2
参考文献・資料等	なし
備考	なし

1. 本授業科目の基本情報

科目名（コード）	Writing I	（ NKT13H ）	
講義名（コード）	Writing I	（ NKT13HB ）	
対象学科	国際コミュニケーション学科 / グローバルビジネス学科	配当学年	1学年
対象コース	観光ホスピタリティコース / 英語キャリアコース / グローバルビジネスコース	単位数	2
授業担当者	DavidA. Robbins	時間数	30
成績評価教員	DavidA. Robbins	講義期間	春学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	For students to learn to write well and in ways that are appropriate for the setting.
全体の内容と概要	Using the text as a work book, listening to lectures about writing, and discussion times to further understanding.
授業時間外の学修	I may give them homework if it seems necessary, but as much as possible we will try to complete the work in class.
履修上の注意事項 等	During lecture and discussion times, they will be expected to leave their phones on top of their desks. During research and study times they will be allowed to use their smart phones as study tools.

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理能力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	Learning to organize information	Introductions, Orientation and Chapter 1 pp.1-8
2	Learning to research a topic into a paragraph	Grammar Hints and Writing Assignment Chapter 1 pp.8-9 & 255
3	Learning to indemnify parts of a paragraph	Presenting Information & Chapter 2 Understanding Paragraphs pp.11-13
4	Learning topic sentence techniques	Topic Sentence Guidelines, Chapter 2 pp.14-15
5	Learning to have supporting sentences agree with the topic sentence	Topic Sentence and Supporting Sentences Agreement, Chapter 2 pp.16-18
6	Learning how to conclude your paragraph smoothly	Supporting Sentences Part 2 and Concluding Sentence, Chapter 2 pp.18-20 & Paragraph Assignment Part #1
7	How to organize personal information	Paragraph Assignment, Part #2
8	Learning to write your opinions into a paragraph correctly	Paragraph Assignment, Part #3
9	How to organize paragraphs into essay format	Presenting Paragraphs in a Essay Formate & New Topic Paragraph Assignment
10	Paragraph Practice	Presentation of Paragraph and Practice, Chapter 2 pp.30
11	Learning to use time signal words in a paragraph	Organizing Information by Time Order, Chapter 3 pp.32-34 & Description Words for People
12	How to use prepositions in a time sequence paragraph	Grammar for Time Sequence Description, Chapter 3 pp.35-37
13	Organizing time sequence information into a paragraph	Time Sequence Paragraph Exercises, Chapter 3 pp.38-46 & Test Review
14		Test
15	Test Review	Feedback

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	Ready to Write 2, Pearson Education Inc.
参考文献・資料等	N/A
備考	N/A

1. 本授業科目の基本情報

科目名（コード）	キャリアデザイン I		（ NKT13P ）
講義名（コード）	キャリアデザイン I A		（ NKT13PA ）
対象学科	国際コミュニケーション学科 / グローバルビジネス学科	配当学年	1学年
対象コース	英語キャリアコース / グローバルビジネスコース / 観光ホスピタリティコース / WEBマーケティングコース	単位数	2
授業担当者	江戸 真依子	時間数	30
成績評価教員	江戸 真依子	講義期間	春学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	・自分自身の専門学校生活や職業人生、キャリアについて自らが主体となって構想し、実現することを目指す。
全体の内容と概要	・講義と演習により、面接へ向けて実践的なマナーやスキル、履歴書の記入方法を習得する。
授業時間外の学修	・自身の興味のある企業に関するリサーチ（インターンシップ含む）
履修上の注意事項等	・主体性をもって、授業に取り組む姿勢 ・基本的に授業の前半にインプット、後半は学生自身で調べたり考えたり、発表する時間を設ける。

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	授業内容を理解し、主体的に取り組む必要性を知ることができるようになる	【オリエンテーション】講師自己紹介、前期の内容について説明、教材配布 【演習】学生による自己紹介、キャリア面談表の記入
2	基本的なビジネスマナーを理解できるようになる	【ビジネスマナー】社会人に必要とされるマナーについての理解、非言語コミュニケーション 【演習】学生同士で学んだことを練習
3	就職活動スケジュールが理解できるようになる	【就職活動スケジュールと進め方】就職事情について 【演習】就活計画の検討と作成
4	キャリアについて理解できるようになる	【キャリアについて】キャリア意識、マインド、社会人基礎力について 【演習】自分が考える「キャリア」について発表
5	自分の強みを発見し、認識できるようになる	【強みの発見】人生曲線の説明 【演習】人生曲線の記入と強みの理解
6	自己分析し、自分史をまとめることができるようになる	【自己分析】自分史/長所の確認 【演習】自分史の作成、分析
7	他人の紹介ができるようになる	【他己紹介】ジョハリの窓/友達の長所発見 【演習】友達の長所記入、発表（2分/人）
8	自分の特性を知ることができる	【コンピテンシー】コンピテンシーとは 【演習】自身のコンピテンシーについて記入
9	自己PR書の作成ができるようになる	【自己PR】自己紹介、長所、他者から見た自分の良いところを活用 【演習】自己PR文作成、発表（2分/人）
10	筆記試験について理解できるようになる	【筆記試験対策】筆記試験の種類 【演習】筆記試験の問題を解く
11	インターンシップについて理解することができるようになる	【インターンシップ】インターンシップとは、企業への連絡、電話の方法 【演習】インターンシップを実施している企業の検索
12	与えられた課題についてグループディスカッションができるようになる	【ワークショップ】テーマ：「今の日本で変革したいこと、そのビジネス手法」 【演習】ワークショップ/個別面談
13	チームで発表ができるようになる	【ワークショップ】テーマ：「今の日本で変革したいこと、そのビジネス手法」 【演習】ワークショップ/個別面談
14	前期試験	【試験】選択・記述式(100点)
15	フィードバック・まとめ	【前期試験フィードバック】試験のフィードバック、前期のまとめ

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	『留学生のための就職内定ワークブック』（一般社団法人留学生支援ネットワーク）
参考文献・資料等	適宜プリント、就活に関するニュースなどの情報シェアを行う
備考	なし

1. 本授業科目の基本情報

科目名（コード）	キャリアデザイン I		（ NKT13P ）
講義名（コード）	キャリアデザイン I H		（ NKT13PH ）
対象学科	国際コミュニケーション学科 / グローバルビジネス学科	配当学年	1学年
対象コース	英語キャリアコース / グローバルビジネスコース / 観光ホスピタリティコース / WEBマーケティングコース	単位数	2
授業担当者	江戸 真依子	時間数	30
成績評価教員	江戸 真依子	講義期間	春学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	・自分自身の専門学校生活や職業人生、キャリアについて自らが主体となって構想し、実現することを目指す。
全体の内容と概要	・講義と演習により、面接へ向けて実践的なマナーやスキル、履歴書の記入方法を習得する。
授業時間外の学修	・自身の興味のある企業に関するリサーチ（インターンシップ含む）
履修上の注意事項等	・主体性をもって、授業に取り組む姿勢 ・基本的に授業の前半にインプット、後半は学生自身で調べたり考えたり、発表する時間を設ける。

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	授業内容を理解し、主体的に取り組む必要性を知ることができるようになる	【オリエンテーション】講師自己紹介、前期の内容について説明、教材配布 【演習】学生による自己紹介、キャリア面談表の記入
2	基本的なビジネスマナーを理解できるようになる	【ビジネスマナー】社会人に必要とされるマナーについての理解、非言語コミュニケーション 【演習】学生同士で学んだことを練習
3	就職活動スケジュールが理解できるようになる	【就職活動スケジュールと進め方】就職事情について 【演習】就活計画の検討と作成
4	キャリアについて理解できるようになる	【キャリアについて】キャリア意識、マインド、社会人基礎力について 【演習】自分が考える「キャリア」について発表
5	自分の強みを発見し、認識できるようになる	【強みの発見】人生曲線の説明 【演習】人生曲線の記入と強みの理解
6	自己分析し、まとめることができるようになる	【自己分析】長所の確認 【演習】自身の長所について、他者にシェア
7	他者の紹介ができるようになる	【他己紹介】友達の長所発見 【演習】友達の長所記入、発表（2分/人）
8	自分の特性を知ることができる	【コンピテンシー】コンピテンシーとは 【演習】自身のコンピテンシーについて記入
9	自己PR書の作成ができるようになる	【自己PR】自己紹介、長所、他者から見た自分の良いところを活用 【演習】自己PR文作成、発表（2分/人）
10	筆記試験について理解できるようになる	【筆記試験対策】筆記試験の種類 【演習】筆記試験の問題を解く
11	インターンシップについて理解することができるようになる	【インターンシップ】インターンシップとは、企業への連絡、電話の方法 【演習】インターンシップを実施している企業の検索
12	与えられた課題についてグループディスカッションができるようになる	【ワークショップ】テーマ：「今の日本で変革したいこと、そのビジネス手法」 【演習】ワークショップ/個別面談
13	チームで発表ができるようになる	【ワークショップ】テーマ：「今の日本で変革したいこと、そのビジネス手法」 【演習】ワークショップ/個別面談
14	前期試験	【試験】選択・記述式(100点)
15	フィードバック・まとめ	【前期試験フィードバック】試験のフィードバック、前期のまとめ

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	日本能率協会マネジメントセンター「専門学校生のための就職内定 基本テキスト
参考文献・資料等	適宜プリント、就活に関するニュースなどの情報シェアを行う
備考	なし

1. 本授業科目の基本情報

科目名（コード）	スピーチ I		（ NCR13A ）
講義名（コード）	スピーチ I		（ NCR13AX ）
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年	1学年
対象コース	英語キャリアコース	単位数	2
授業担当者	DavidA. Robbins	時間数	30
成績評価教員	DavidA. Robbins	講義期間	春学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	For the students to be able to give a successful speech on a variety of subjects. They will learn how to gather information on the topic, organize into a speech form and deliver it in a professional way.
全体の内容と概要	Using references from various textbooks and handouts on technics to a speech, lectures from the teacher, discussion time and provided time in class for research needed to do their speeches.
授業時間外の学修	I don't expect them to do homework but they will have the option of doing research out of class in improve their knowledge. I will provide them time in class to research when needed.
履修上の注意事項等	During lecture and discussion times, they will be expected to leave their phones on top of their desks. During research and study times, they will be allowed to use their smartphones as study tools.

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理能力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	Understanding the different types of communications in a language	Orientation and Introductions
2	Learning the different types of presentation speeches: impromptu, informative, persuasive and entertaining.	Handouts on Speech types and examples.
3	Evaluating the different aspects of your listeners	Handouts on audience and lecture
4	Learn basic outline organization for all types of speeches.	Handouts on Outlining a speech and information gathering.
5	Learning the Do's and Don'ts of Body language doing a speech	Lecture and handouts on correct body language for a speaker.
6	Learning the Do's and Don'ts of the speakers voice	Lecture and handouts on correct usage of voice issues of the speaker.
7	Doing a speech	Students will give Speech #1
8	Learning how to critique your own speech.	Lecture and Handout on refining your speech.
9	Building your vocabulary for a specific type of speech.	Lecture and Handout on Vocabulary building
10	Doing a speech	Students will give Speech #2
11	Learning technics for making your speech more interesting	Lecture and Handout on an interesting speech.
12	How to recognize and adapt your speech in progress when it isn't going well.	Lecture and Handout on saving a bad speech.
13	Preparing for the Final Speech	In class time to gather information for speeches
14	Giving Final Speech	Test
15	Discussing Test	Test Feedback

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	N/A
参考文献・資料等	N/A
備考	N/A

学校法人ISI学園 専門学校長野ビジネス外語カレッジ

2024年度 シラバス

1. 本授業科目の基本情報

科目名（コード）	パソコン検定対策 I		（ NGM10K ）
講義名（コード）	ビジネスコンピューティング I H		（ NKT13LH ）
対象学科	国際コミュニケーション学科 / グローバルビジネス学科	配当学年	1学年
対象コース	英語キャリアコース / WEBマーケティングコース	単位数	2
授業担当者	竹内 玲子	時間数	30
成績評価教員	竹内 玲子	講義期間	春学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄			講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	Windows11でのパソコン操作、Microsoft Office2021の基礎を習得する 基本的なビジネス文書の作成、プレゼンテーション資料の作成ができる
全体の内容と概要	テキストに沿って様々な形式の課題を作成し、基本操作を身につける 前期でWord・PowerPoint、後期でExcelを学習します
授業時間外の学修	操作環境がない学生がほとんどだと思いますので、メニューの操作方法、文章の構成など テキストや授業時配布されたプリントで復習してください
履修上の注意事項等	資格取得の意欲のある学生には、資格試験（MOS・日商PC検定）の練習もおこなっていきます

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理能力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	Windowsの基本操作ができる タッチタイピングを覚える	教室の使い方、注意、システムの説明・Windows11の基本操作 タイピングソフトを利用したタイピング練習
2	Wordを起動し保存・終了・文字入力の基本操作ができる	Wordの基礎・文字入力（ファンクションキー変換・IMEの使用・記号の入力） 短文入力
3	Word ページ設定・編集機能の利用ができる	ページ設定・編集機能 複写・削除・移動の利用
4	PowerPointの基礎操作ができる	PowerPointの概要、起動、新規作成、画面構成確認、入力、保存 （スライドの挿入、箇条書き、図形の挿入、表作成、図の挿入）
5	PowerPoint スライド、挿入したオブジェクトの編集ができる	書式設定、箇条書きの変更、図形の変更、表の編集、図の編集
6	PowerPoint スライドショーの実行 ブラッシュアップ機能が操作できる	テーマ、アニメーション、スライドショー、スライドの印刷設定 スライドマスターを使ったテンプレートの変更方法
7	Word 社内・社外文書を理解し 表の作成・編集ができる	ビジネス文書（社内文書・社外文書）の入力 配置・箇条書き・フォントの変更・表の作成・編集
8	Word 表の入った文書を作成できる 表の編集ができる	例題文書作成→書式の変更（社内文書の配置確認・切り取り線の作成など） 例題文書作成→表の編集（社外文書の配置確認・表の作成、編集など）
9	Word オブジェクトを操作できる	画像・テキストボックスの入った文書作成 （ワードアート・画像・テキストボックス挿入）
10	Word 文書に合わせた画像の操作ができる	画像の入った文書作成 表の操作確認・図形の入った文書作成
11	復習 Word	テスト前練習問題 すべての機能を活用したビジネス文書作成
12	復習 PowerPoint	テスト前練習問題 すべての機能を活用したスライド作成
13	復習 Word・PowerPoint	テスト前練習問題 すべての機能を活用したビジネス文書作成・スライド作成
14	まとめと解説	期末テスト
15	まとめと解説	テストF B

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	30時間でマスター Office2021
参考文献・資料等	各問題集からの練習問題・プリント
備考	タイピング練習ソフト（MIKA TYPEほか）